

# 福祉サービス第三者評価結果

事業所名 相模原市立大沼保育園

発効：平成26年3月24日（平成29年3月23日まで有効）

公益社団法人神奈川県社会福祉士会

## 公益社団法人神奈川県社会福祉士会 第三者評価結果

### 事業所基本事項

フリガナ	サガミハラシリツ オオヌマホイクエン	
事業所名 (正式名称を記載)	相模原市立 大沼保育園	
事業所種別	保育所	
事業所住所 最寄駅	〒252 - 0333 相模原市南区東大沼 3-18-20 小田急線 相模大野駅下車 バス 10分・ 徒歩 5分	
事業所電話番号	042-745-2140	
事業所 FAX 番号	042-745-2447	
事業所代表者名	役職名 主幹(兼) 園長	氏名 三村恵美子
法人名及び 法人代表者名	法人名 _____	法人代表者氏名 _____
URL	e-mail oonumaho-city.sagamihara.kanagawa.jp	
問合せ対応時間	8:30 ~17:00	

### 事業所の概要 1

開設年月日	昭和 47 年 3 月 1 日
定員数	150 名
都市計画法上の用途地域	第 1 種低層住居専用地域
建物構造	鉄骨造 2 階建て 1 部平屋建
面積	敷地面積 ( 1.554.11 ) m <sup>2</sup> 延床面積 ( 931.59 ) m <sup>2</sup>

### 事業所の概要 2 (職員の概要)

総職員数	48 名
うち、次の職種に該当する職員数	園長 (常勤 1 名) 保育士 (常勤 21 名・常勤以外 15 名) 栄養士 (常勤 0 名・常勤以外 0 名) その他 (事務員 0 名、調理員 3 名、庁務作業員 1 名)

### 事業所の概要 3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	生後 8 週目～小学校就学未満	
延長保育の実施	有 ・ 無	備考: 18:00~19:00
休日保育の実施	有 ・ 無	備考:
一時保育の実施	有 ・ 無	備考:
障害児保育の実施	有 ・ 無	備考:
病後児保育の実施	有 ・ 無	備考:

### 保育の方針

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で考えて、自分で決めて、意欲的に行動できる子</li> <li>・いろいろな人との関わりの中で信頼関係、思いやりの心を持つ子</li> </ul>
---

## 公益社団法人神奈川県社会福祉士会 第三者評価結果

### 1. 総合コメント

#### 総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善を要する点）

##### 優れている点・独自に取り組んでいる点：

###### ○保育目標

大沼保育園の保育目標に、「意欲と思いやりのある子」を育てるとし「①家庭的なくつろいだ雰囲気の中で、子どもたちがのびのびと楽しく過ごせるような環境作り、②遊びや友達などのかかわりを通して、自らやろうとする意欲を育て又豊かな感性や思いやる心が育つよう、個性を大切に、③心身共に健やかに発達できるよう、家庭と連携を十分取る」を掲げ保育に取り組んでいる。

###### ○立地を活かした保育

園は住宅街に位置し、大沼小学校、大沼公民館、大沼こどもセンター、高齢者グループホームに近く、小学校に5歳児が定期的に招かれたり小学生の見学受入れ、高齢者グループホームの高齢者と交流するなどしている。また、中学生・高校生の体験学習など立地を活かした保育を行っている。

###### ○オープン保育

「異年齢児の触れ合いを大切にしよう」を重点課題に掲げ取り組んでいる。オープン保育のなかで、日常的に異年齢児との関わりがある。年下の子どもへの思いやりの心、年上の子どもに叱られたり褒められたりまた憧れの気持ちを持つなどの経験が培われている。また、個別に対応の場面では、他の保育士が集団で遊んでいる園児の対応をするなど、保育士の間で役割を柔軟に分担している。

###### ○地域子育て支援

地域担当保育士を中心に、園が持つ子育ての知識、技術、設備等を生かし、地域の子育て支援の拠点として取り組んでいる。毎日の園庭解放、図書の貸し出し、毎月の誕生会、七夕会等の園行事への招待などを通して、園児と地域の子ども達との交流を図っている。また、地域子育て支援事業として、地域子育て通信「ハッピースマイル」を発行している。公立保育園4園合同で、子育て支援講座等の取り組みも行っている。

###### ○職員間の連携

「全園児を全職員で」に沿って、全職員で漏れなく情報を共有出来るよう職員会議を月2回開催、また園内連絡ノートを活用し職員間の情報共有と連携を図っている。昼食時、食事の終わった職員が順次保育を対応するなど、チーム保育の下でオープン保育を実践している。

###### ○ランチルーム

調理室がガラス張りになっており、ランチルームから調理の様子が見える。調理の香りが吹き抜けを通じて乳児クラスのある2階まで届くようになっている。ランチルームでは、名前カードで席を確保しお盆を自分で運び、友だち同士で挨拶を交わして食べるなど、自由に好きな場所で決められた時間内であれば好きな時に給食を摂る事ができる。食器は磁器製で木の箸を使っており、食べ終わった食器は園児が自分で片付けられるようカゴに食器別の写真を貼るなど工夫している。

###### ○保育の資質向上

市保育課主催の研修に加え、園では「アネモネの会」として年11回自主研修を行なっている。他のクラスの懇談会を見学したり、日頃の保育について自己評価を行い振り返りの機会を持っている。また、保育日誌の書き方について、園長が良い記述に赤線を引き職員会議で紹介するなど、保育の資質向上に努めている。

#### 評価領域ごとの特記事項

1	人権への配慮	<p>○園児や保護者への適切な言葉遣いや態度について、「大沼保育園保育マニュアル」に定め、職員会議での話し合いや、接遇に関する外部研修の報告等を行うことで共通認識をもって保育に取り組んでいる。外国籍の保護者には、母国語表記の「入園のしおり」や配布物にルビを振る等、個別の伝達を日頃から心掛けている。</p> <p>○相模原市個人情報保護条例が制定されており、職員会議等での周知や園内に個人情報に関するパンフレットを掲示し、職員の意識の徹底をはかっている。保護者には入園説明会等で説明している。個人情報を含む文書類は書庫に施錠して保管し、「持ち出し管理票」にて取り扱っている。</p> <p>○実習生やボランティア、見学者の受入れにあたっては、受入れマニュアルを整備し、プライバシーの保護について説明し徹底をはかっている。</p>
---	--------	--

2	<b>利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援</b>	<p>○家庭との連絡・情報交換は、「大沼保育園保育マニュアル」で手段・方法等を定め、連絡帳や「すくすくカード」、園だより、クラスだよりのほか、送迎時に保護者が確認できるように、その日の様子や連絡事項を情報ボードに写真入りで掲示し、保育状況を知らせるなど連絡を密にしている。</p> <p>○クラス懇談会を年2回実施し、保護者の意見・要望を把握している。個人面談は全園児に年1回実施しているほか、必要に応じ行っている。</p> <p>○運動会やおたのしみ会等の保護者参加の行事の後には、アンケートを実施している。また、保護者が意見や要望等を出しやすいように「ご意見箱」を設置し、日頃より保護者の希望や意向の把握に努めている。</p>
3	<b>サービスマネジメントシステムの確立</b>	<p>○苦情への対応は、「相模原市立保育所及び療育センターにおける苦情解決実施要綱」に手順を明記し、苦情受付担当者や苦情解決責任者、第三者委員名を、正面玄関と2階階段横など3ヶ所に掲示して、保護者に周知している。受付けた苦情は「苦情受付書」に記し、早急に対応している。</p> <p>○「相模原市立保育園園児健康管理マニュアル」で、室内の環境整備の方法を定め、「安全衛生チェックリスト」で温度や湿度や換気、消毒液、洗剤の管理、危険物など管理と安全点検を行っている。園児が触れるおもちゃ、布団、砂場など物品の除菌・消毒、遊具の安全点検については「園児健康管理マニュアル」「安全チェックリスト」で、点検実行記録をつけ衛生面・安全面の管理を行っている。</p> <p>○「感染症対応マニュアル」を常備し、園内で流行している感染症の情報や季節に流行する感染症の資料を配布し、インフルエンザなどの情報は保健ニュースの掲示や「園だより」などで保護者に情報提供している。</p> <p>○防火・防災については、「大沼保育園消防計画」に基づき避難訓練などを年12回行なっている。防犯については、「大沼保育園保育マニュアル」不審者対応に沿って防犯訓練を年間4回実施している。実施後は、職員会議等で反省と見直しを行っている。</p>
4	<b>地域との交流・連携</b>	<p>○地域の子育て支援については、地域担当職員を中心に、園庭開放や誕生会、「いっしょにあそぼう!」「おもしろランド」「ワン・ツー!あそぼ」など園児と地域の親子が交流できる機会を持ったり、育児相談などを行っている。</p> <p>○地域の子どもセンターで「おもしろランド」などを行い、遊びの紹介や育児相談を行っている。また「ぬまっこ子育て広場」からの依頼で子育て講座を実施している。地域の親子向けに「地域子育て通信ハッピースマイル」「子育て通信にこにこえくぼ」等の機関紙を発行し、子育てに関する情報を提供している。</p> <p>○地域の高齢者グループホームの高齢者と定期的に交流している。また、近くの大沼小学校に5歳児が定期的に招かれ交流している。</p>
5	<b>運営上の透明性の確保と継続性</b>	<p>○大沼保育園独自の自己評価チェック表を作成し、前期・後期年2回自己評価を実施し、その結果を職員会議でフィードバックし改善につなげている。行事や日々の保育については、保護者アンケートの結果も参考に乳児・幼児の話し合い会議で検討し改善を図っている。</p> <p>○保育目標は、保護者や地域からの理解が得られるよう、園内へ掲示したり、「おおぬま(園だより)」「おおぬまほいくえんパンフレット」「大沼保育園の概要」などで周知している。</p> <p>○保育の様子を見る機会を保護者対象に公開保育を6月に、保護者及び地域の方を対象に保育ウィーク5日間を11月に、保護者を対象に保育参観を2月に開催し同日懇談会も行っている。その他に希望があれば随時保育参観を実施。</p>
6	<b>職員の資質向上促進</b>	<p>○「相模原市立保育園保育マニュアル」や「大沼保育園保育マニュアル」に、保育の理念や保育目標を明記している。内容を職員会議で読み合わせ周知し、基本姿勢の統一をはかっている。</p> <p>○研修計画は「保育所職員研修計画」に基づき、役職・勤続年数・担当などに配慮した一貫性を持った計画が保育課で作成され実施されている。園内研修は「自主研修予定表」を作成し職員全体で取り組んでいる。</p> <p>○外部研修を受講した職員は、職員会議で研修報告を行うとともに、研修</p>

	報告書を回覧している。研修報告書はファイルし、自由に閲覧できるように事務室に置いている。
--	--

## 2. 評価項目に基づく評価の結果

### 大項目 1 保育環境の整備

評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行った結果です

<b>大項目 1 全体（調査確認事項全 80 事項）を通してのサービスの達成状況</b>	<b>100%</b>
--	-------------

#### 大項目 1 の内容（概要）

1	人権の尊重	子どもや保護者に対する態度や言葉遣い
		出生や国籍、性差などによる差別の禁止
		子どもの虐待予防や早期発見のための地域の関係機関・団体との連携
2	プライバシー確保	プライバシー確保への配慮
		個人情報保護の体制整備
3	家庭と保育園との信頼関係の確立	家庭との連絡、情報交換の体制
		家庭の意向・希望の把握
4	苦情解決システム	苦情解決の体制整備
5	環境整備	温度や湿度等の管理
		洗剤等の危険物の管理
		おもちゃ、遊具等の管理
6	健康管理（感染症対策・救急救命を含む）	体調不良児、けがへの対応
		感染症への対応
		救急事態発生時の医療機関・家族等との連携
7	危機管理（防災・防犯）	火災や震災等の対応
		日常の防災・防犯体制の整備
8	地域の子育て支援	地域内の子育てニーズの把握と支援
9	自己評価と情報開示	自己点検・改善活動の実施
		地域への情報提供、情報開示
		見学や保育参観の機会の設定
10	職員研修	職員研修の実施
		実習生の受入れ、指導

大項目2 保育内容の充実

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもと保育士とのかかわりにおいて、子どもの情緒の安定をはかることや、順調な発育・発達を促すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>A. 一人ひとりの家庭状況・生育歴・健康状態を把握し、職員間で共通理解のもと保育を進めている。</p> <p>B. 子どもの気持ちを受け止めたり共感することを大切にし、スキンシップを取ったり、1対1で過ごすなど、安心して過ごせるよう関わっている。</p> <p>C. 個々の成長、発達を記録に残して把握し、個別配慮を要する子どもについて、クラス、職員全体で話し合い、様々な計画を立て支援している。</p>	<p>A. 一人ひとりの家庭状況を把握し保育士が共通理解の下で保育している事を「児童票」や「乳児の話し合い会議」「幼児の話し合い会議」の記録で確認した。</p> <p>B. 子どもの情緒の安定をはかる関わりについては、1対1で関わり園児の気持ちを受け止めている様子やスキンシップの様子を「保育日誌」や訪問調査時の保育の様子観察で確認した。</p> <p>C. 個々の成長、発達の記録、個別配慮を要する子どもについての話し合いを「幼児の話し合い会議資料」「指導計画 もも組」や訪問調査時の保育の様子観察で確認した。</p>
<p>子ども同士のかかわりにおいて、個の違いを認めあうことや他者と自分を大切にすることを育てるようするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>A. オープン保育、縦割りグループ、異年齢の交流など、共に活動する機会を持つ中で思いやりの気持ちが持てるよう援助している。</p> <p>B. 子ども同士のやりとりの中での衝突を見守りつつお互いの話を聞き、自分と相手との思いや考え方の違いが存在する事に気付けるようにする。</p> <p>C. 共に生活する中で、障害や発達の違いなどの個性を認め合えるよう援助している。</p>	<p>A. オープン保育時に、年下の園児に優しく接するなど思いやる気持ちが持てるよう保育している様子を「保育日誌」や訪問調査時の子ども達の様子観察で確認した。</p> <p>B. おもちゃの取り合いに際して自分と相手との思いや考え方の違いに気付けるよう保育している事を「保育日誌」で確認した。</p> <p>C. 他の園児の世話や障がいのある児童を励まし、個性を認め合えるよう保育している事、障がいのある学生実習生との関わりの様子を「保育日誌」と訪問調査時の子ども達の様子観察で確認した。</p>
<p>子どもと社会とのかかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることを楽しさを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>A. オープン保育、年齢別保育、異年齢交流の中で、様々な人と触れ合い、人と関わる楽しさを味わえるようにしている。</p> <p>B. 当番活動やお手伝いなどを通して協力することや人の役に立つことの経験を重ねている。</p> <p>C. 園庭開放や世代間交流などを通して、地域の方々と楽しみを共有している。</p>	<p>A. 人と関わる楽しさについては、小学校までの散歩の行き帰りに年長さんが年下の園児の手をとるなど異年齢児同士のふれあいの様子を「保育日誌」や写真、訪問調査時の子ども達の様子観察で確認した。</p> <p>B. 当番活動やお手伝いについては、プール掃除をお手伝っている様子やおやつ当番等の様子を「保育日誌」や写真、訪問調査時の子ども達の様子観察で確認した。</p> <p>C. 世代間交流について、地域のグループホームを訪問し高齢者と触れ合ったり、「大正琴の会」の行事で来園する地域の高齢者との交流の様子を「保育日誌」や写真で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>A. 挨拶や生活・遊びに必要な言葉を見本となって示したり、実践できるようにその都度伝えるようにしている。</p> <p>B. 様々なごっこ遊びなどを通して言葉のやりとりが十分に楽しめるような年齢に合わせた環境を整えている。</p> <p>C. 貸出し図書や絵本コーナーを設置し好きな本を選んで楽しめるようにしている。</p>	<p>A. 散歩時の地域の人との挨拶など必要な言葉を見本となって示し伝えている事を「保育日誌」や訪問調査時の保育の様子観察で確認した。</p> <p>B. 言葉のやりとりが楽しめる環境整備については、パン屋さんごっこで言葉のやりとりを楽しんでいる様子を「保育日誌」や写真で確認した。</p> <p>C. 絵本コーナーで、気に入った絵本を探したり、友達と一緒に見たりしている様子を、「保育日誌」や写真、訪問調査時の子ども達の様子観察で確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか	<p>A. 子どもの気持ちを汲みとり言葉にして表現したり、ゆったり子どもの話を聞いたりする中で人と話す楽しさや相手に気持ちが通じる心地よさを感じられるようにしている。</p> <p>B. 人前で自分の思いを話したり皆で話し合う場を作り、話すことや聞くことの経験ができるようにしている。</p> <p>C. 読み聞かせ、素話、年齢に合った絵本や紙芝居などを通して想像力を育み、イメージを膨らませながら言葉の感覚を豊かにしている。</p>	<p>A. 保育士が子どもの気持ちを汲みとり表現したり伝えたりしている様子を「保育日誌」や訪問調査時の保育の様子観察で確認した。</p> <p>B. 照れる事無く皆の前で話す事ができた様子や、お店やごっこのお店決めについて皆で話しあう様子を「保育日誌」で確認した。</p> <p>C. 絵本の読み聞かせの中で、イメージを膨らませ登場人物に話しかけている様子や、「おはなし会」がボランティアとして来園し幼児を対象に素話をしている様子を「保育日誌」や写真、訪問調査時の保育の様子観察で確認した。</p>
生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか	<p>A. クラスやオープンスペースでコーナーを設定したり、年齢・発達に合わせた製作活動を行い、子ども達が様々な遊びや素材に触れて楽しめるようにしている。</p> <p>B. リズムや歌に合わせて自由に表現することを楽しんだり、楽器遊びを通して音楽への興味を引き出せるようにしている。</p> <p>C. 地域担当保育士に年齢に合わせた遊びを紹介してもらい、保育の中で活かせるよう保育士も学ぶ機会を作っている。</p>	<p>A. コーナー遊びや、シール貼りの製作の様子、粘土や箱などの素材が準備されていることを写真や訪問調査時の子ども達の様子観察などで確認した。</p> <p>B. 楽器あそびの様子、鈴、タンバリンが準備されていることを「保育日誌」「遊びグループ」楽器あそびを楽しもう！や訪問調査時の様子観察で確認した。</p> <p>C. 地域担当の保育士が年齢に合わせた体操や遊びを紹介している様子を「〇〇先生とあそぼう（もも組）」「〇〇先生とあそぼう（き組）」で確認した。</p>
生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなで一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか	<p>A. 子どもの作品を飾ったり工程の中で認められたり褒められる喜びを味わい、自発的に表現できるよう関わりをもち、意欲的に遊びや活動を楽しめるようにしている。</p> <p>B. 運動会やお楽しみ会を通して、みんなで表現することの喜びや楽しさ、満足感や達成感を味わえるようにしている。</p> <p>C. ごっこ遊びや活動を通して生まれてくる自由な発想を受けとめ、人との関わりを楽しんだり創造的に表現できるようにしている。</p>	<p>A. 製作でほめられた事により自発的に製作に励む様子、運動会の総練習で「すごいね」と園児を褒めている様子、「にじいろのさかな」の絵本を読んだ後で描いた作品を展示した様子を「保育日誌」や写真で確認した。</p> <p>B. お楽しみ会の練習を楽しんでいる様子、運動会の練習を通じて達成感を感じている様子を「保育日誌」で確認した。</p> <p>C. 自由な発想で買い物ごっこをしている様子、ままごとが買い物ごっこややりとりに広がっている様子、声かけや気持ちを受け止め個々の園児の自由な発想を大切に工夫している様子を「保育日誌」で確認した。</p>

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>A. 子どもの成長に合った絵本・紙芝居・パネルシアターなどの視聴覚教材を使い親しむ機会を持ったり、絵本コーナーの設置や絵本の貸し出しを行っている。</p> <p>B. 年間を通して様々な運動用具を取り入れ意欲的に取り組めるようの中で体を動かす楽しさを味わいながら身体的発達を促している。</p> <p>C. 子どもの気付きを十分受け止め共感することで、より興味や関心を持てるようにしている。</p>	<p>A. 成長にあった絵本や読み聞かせを工夫している様子を「保育日誌」で確認した。また、絵本や紙芝居を保育者に貸し出している事を、貸し出しのルール「にこにこ文庫紹介」で確認した。</p> <p>B. サーキット遊び、平均台やボールプール、ロープやタイヤなどで体を動かす事を楽しんでいる様子を「保育日誌」や写真で確認した。</p> <p>C. ピーマンの成長への気付き、下膳時にお皿が不安定になっている事への気付きに共感したり褒めたりしながら保育している様子を「保育日誌」で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>A. 室内、園庭の遊びについて必要に応じ見直しを図り、十分に遊びを楽しめるようにしている。</p> <p>B. 自然の中で遊ぶことで季節を感じ、身近な事象に関心を持てるような遊びを取り入れている。</p> <p>C. 生き物の飼育をしたり、野菜・花の栽培や観察をすることによって生長の喜びや命の大切さを知らせている。</p>	<p>A. 室内、園庭の遊びについて、絵本コーナーの環境を落ちついてホッとできるよう見直した事、ロープやタイヤなどを設置し園庭あそびを工夫した事を「ホワイトボード」記載や写真で確認した</p> <p>B. 季節を感じ身近な事象に関心を持てるようにしている事に関し、桜の花びらで遊び春を感じている様子を「保育日誌」で確認した。</p> <p>C. 園庭の栽培物に気付き水をあげている様子、飼っていたザリガニが死にお墓を作った様子「保育日誌」や写真で確認した。</p>
<p>自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>A. クラスおよびランチルームでの食事を楽しみながら食べる時間や食べる量を調整している。</p> <p>B. 給食で使われる食材や旬の野菜を紹介したり、調理の下ごしらえをして食材への感心を高める。</p> <p>C. 排泄は個々のペースを把握し、その子のペースに合わせて声かけをして成功した時は喜びを共感し、自信と意欲につなげていく。</p>	<p>A. ランチルームで新入児が先に食べるなど時間をずらし落ち着いた環境の工夫、園児によって量を調整し完食できるようにしている事を「保育日誌」や訪問調査時の様子観察で確認した。</p> <p>B. 給食で使われる食材や旬の野菜を紹介している様子、給食に使う食材を栽培し収穫している様子を「保育日誌」や写真で確認した。</p> <p>C. 排泄について個々のペースを把握している事を「児童票」で確認した。園児の違いに配慮し、個々のペースに合わせて声かけをし、うまくトイレに行けた時は褒めている様子を「保育日誌」で確認した。</p>
<p>身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>A. 個々の発達段階を把握し、自分でできることは意欲を持って行えるよう見守り、個々に応じた援助をする。</p> <p>B. 和やかな雰囲気の中で丁寧に援助をしたり、手洗いや歯みがきなど自分で出来たことを共に喜び、自分の健康への興味や関心が持てるようにする。</p> <p>C. 食材についての掲示を見てから食事をしたり、絵本や紙芝居を見せたりする中で、自分の興味・関心を持ち、食事・休息の大切さに気付いていけるようにする。</p>	<p>A. 個々の発達段階を把握している事を、「児童票」で確認した。自分で靴や靴下をはく事ができるよう、タイミングを図ったり出来た時は褒めている様子を「保育日誌」で確認した。</p> <p>B. 歯みがきの時に、歯ブラシの握り方を褒めたり、保育士が手本を示す中で、丁寧に歯みがきが出来ようになった様子を「保育日誌」で確認した。</p> <p>C. 給食の食材の掲示を通じて食材への関心が培われている様子を、また絵本で体を休める事の大切さを学び入眠が早くなった様子を「保育日誌」や訪問調査時の子ども達の様子観察で確認した。</p>



大項目3 保育園の特徴

事業所から自己申告された内容について、事実確認を行った結果です

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもの豊かな心と身体をはぐくむための特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>A. 異年齢とのかかわりを大切にされた保育の中で、人との関わりを楽しんだり思いやりの気持ちが育まれるようにしている。</p> <p>B. 園庭遊び・運動遊び等を通して、体を使って健康的に生活できるよう活動を考え環境を工夫している。</p> <p>C. オープン保育や年齢に合わせた保育の中で、ルールを理解したり、一人一人の興味や関心に基づいて主体的に活動できるようにしている。</p>	<p>A. 異年齢児との散歩の途中で、小さい子の気持ちを組んであげる様子、年上の園児が年下の園児に声をかけクレヨンや紙を用意する姿を、「保育日誌」で確認した。</p> <p>B. ブランコを外して、かけたロープで体を動かし楽しんでいる様子、傾斜のゆるい平均台渡りコーナーで体を動かしている様子を「保育日誌」で確認した。</p> <p>C. オープン保育の中で、園児が主体的に好きな遊びで楽しんでいる様子、タイヤ遊びで年下の園児に配慮して自主的にルールを決めている様子を「保育日誌」で確認した。</p>
<p>保育環境に特別な配慮を必要とする子ども(長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児)の保育に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>A. 長時間保育では、家庭的で安心して過ごせる雰囲気の中で保育している。</p> <p>B. 乳児保育では、安全で衛生的な環境づくりに気をつけ個々に合わせた保育をしている。</p> <p>C. 支援保育は状況に応じ、個別カリキュラムを立て保護者と共通理解を持ちながら保育している。</p>	<p>A. 延長保育でいつ保護者の迎えが来るか不安の中で待つ園児に、安心して過ごせるよう声かけしている様子を「延長保育日誌」で確認した。</p> <p>B. 乳児保育で、温度、湿度の管理や安全衛生チェックを実行している事を、「保育日誌」や「乳児、幼児安全衛生チェックリスト」で確認した。</p> <p>C. 発達面に不安があり個別の対応が必要な乳幼児を対象とする支援保育において、市南子ども家庭相談課が来園し助言を受け、個別カリキュラムを立てている事を、「保育日誌」「園で取り組んでみたこと、配慮していること、その結果など」で確認した。また、保護者と情報を共有している様子を、「プロフィールシート様式2」で確認した。</p>
<p>健康管理に特別な配慮を必要とする子ども(アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など)の保育に関しての特徴的な取り組み(アレルギー食対応、個別食、離乳食など)について説明してください</p>	<p>A. アレルギー食対応については食物アレルギー対応マニュアルに基づいて対応している。</p> <p>B. 個別食については体調不良児に対応している。</p> <p>C. 離乳食については産休明け保育マニュアルに基づいて保育士、保護者、調理員が連携し個別に対応している。</p>	<p>A. アレルギー状況把握とアレルギー除去食の提供を「食物アレルギー個別票兼対応確認書」「アレルギー対応食受け渡しチェック表」「調理指示書」「食札」および訪問調査時の子ども達の様子観察で確認した。</p> <p>B. 個別食として、下痢気味の園児に調理方法を工夫しやわらか煮を提供している事を「保育日誌」や写真で確認した。</p> <p>C. 産休明け保育マニュアルに離乳食が明記されている事を「産休明け保育マニュアル」で、離乳食提供の様子を「離乳食の食材表」や写真、訪問調査時の離乳食サンプルで確認した。</p>
<p>食に関しての特徴的な取り組みについて説明してください</p>	<p>A. 食育年間計画表を作成し、様々な取り組みを通して食べる意欲を育てている。</p> <p>B. ランチルーム(幼児)・ランチコーナー(乳児)での食事を通して、おいしく楽しく食べる環境を作っている。</p>	<p>A. 食育年間計画表が作成されている事を、「食育年間計画表」で、食べる意欲について収穫したラディッシュの使用や目の前で冬瓜やカボチャを切って食材を紹介して見せ、その時の給食の様子を「保育日誌」で確認した。</p> <p>B. 席を自由に選びいろいろな友達と食事の時間を楽しんでいる様子、ご飯など保育士が目前で盛りつける様子を「保育日誌」や写真、</p>

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
	C. 保護者に向けて食育に関する情報提供を行っている。	訪問調査時の子ども達の様子観察で確認した。 C. 保護者への情報提供に関し、献立表、給食だよりを配布している事を「離乳食献立表」「献立表」で確認した。また、試食会の実施と感想を「おひさまだより」で確認した。
家庭とのコミュニケーションに関する特徴的な取り組みについて説明してください	A. 園だより・クラスだより・連絡帳・掲示などで園での様子を伝えている。 B. 懇談会・個人面談・育児相談を行い、家庭との連携を密にしている。 C. 公開保育・保育ウィーク・保育参観懇談会などで保育を見てもらったり、一緒に参加する機会を設けている。	A. 園での様子を伝えていることを、「園だより」「連絡帳」で確認した。迎えに来園した保護者に、保育士が撮った写真をその日の内に切り貼りして作り写真を交えて伝えている事を、日ごとに掲示される保育の様子の写真と訪問調査時の様子観察で確認した。 B. 懇談会が、家庭と園のみならず家庭同士の情報交換の場になっている事を「保育日誌」「懇談会（記録）」で確認した。また個人面談の様子を「個人面談記録」「家庭より、保育園より」で確認した。 C. 公開保育・保育ウィーク・保育参観の様子を「保育日誌」で確認した。
地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください	A. いっしょにあそぼう～在宅子育て家庭の子ども・保護者を対象に、季節の行事や世代間交流の機会に招いたり、製作・小麦粉粘土等の遊びをしながら保護者同士の情報交換をしたり、園児との関わりや園児の遊び・発達の様子を見て、我が子の発達の確認や数年後の姿をイメージしてもらおう場としている B. ちいさいおともだちとあそぼう～2歳児クラスの保育室を開放し、室内で園児と一緒に玩具で遊んだり、手遊びやシアター・歌等を楽しめる場を提供したり保護者同士の情報交換ができるよう仲立ちをしている C. おもしろランド～近隣のこどもセンターに出向き、在宅子育て家庭の子どもと保護者を対象に、親子遊びやシアター・新聞紙遊び・製作・絵本の読み聞かせ等を行い、楽しみながら子育てのヒントを得られる場としている	A. 地域子育て支援事業（いっしょにあそぼう）の様子を「地域子育て支援事業等報告書」や写真で確認した。 B. 地域子育て支援事業（ちいさいおともだちとあそぼう）の様子を「地域子育て支援事業等報告書」や写真で確認した。 C. 地域子育て支援事業（おもしろランド）の様子を「地域子育て支援事業等報告書」「おもしろランド」で、年間予定を「平成 25 年度おもしろランド」で確認した。

### 3. 利用者への調査

#### ～ 保護者アンケート調査を実施した結果です ～

##### (1) 調査の状況

調査期間	平成 25 年 8 月 ～ 平成 25 年 9 月
調査方法	所定の調査票(アンケート票)により実施した。
調査対象者の匿名化	調査は無記名で行い、調査結果から回答について個人が特定化される場合は、評価機関で匿名化を図った。
アンケート調査票の配布	対象者には事業所を經由して調査票を配布した。
アンケート調査票の回収	記入済みの調査票は対象者から直接、評価機関に郵送された。
回収の状況	調査票配布数 90 通 : 返送通数 57 通 : 回収率 63.3%

##### (2) 調査結果の傾向

###### ◆アンケート調査全体の傾向

- 「園の良いところ」として挙げられた意見(自由記述)は 63 件にのぼり、その他の自由記述欄に寄せられた意見の中にも、肯定的な意見が 2 件含まれており、合計で 65 件の「良い点」についての意見が挙げられた。  
 同じく「園に改善してほしいところ」として挙げられた意見(自由記述)は 47 件であった。
- 項目別の回答状況では、「保育内容」について、「満足している」が 59.6%、「まあまあ満足している」が、36.8%で、9 割以上が満足していると回答した。  
 一方、「やや不満足である」は 1.8%、「不満足である」は 0 で、「無回答」は 1.8%であった。
- また、「保育方針の周知」、「園庭や遊具の清潔面や安全面の配慮」、「子どもに対する職員の対応や態度」、「子どもが楽しく過ごせている」について、回答者から高い満足度が得られている。
- 防犯対策(不審者侵入防止)については「園庭に誰でも入れる」、という意見もあり、また「駐車場の利用の仕方」については、より一層の取り組みの努力が期待される。
- 個別意見では良い点として、「職員が優しい」「全職員が全園児の子供の名前を覚えてくれている」「たっくさんの先生に見て頂いて安心」、「保護者の意見を汲み取っている」、などが挙げられている。
- 保育内容では、「子どもがのびのびと過ごしている」、「異年齢の交流がある」、「様々な遊びをしてくれる」、「行事が充実している」など、多くの意見が寄せられていた。
- 自由記述に寄せられた意見としては、「保育士の対応や態度の改善」、「一日の子どもの様子をもっと教えてほしい」「延長保育時間を検討してほしい」などの意見も挙げられている。
- 全体を通して、日常の保育や園児の様子から、園の方針や取り組みが保護者に伝わり、支持されていることが推察される。
- 園に改善を望む点について、「防犯対策の取り組み」「駐車場の利用の仕方」など具体的な内容が挙がっており、今後の課題として取り組むことを期待する。